

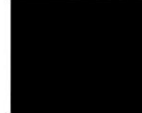
様式第6号その1 (第5条関係)

令和3年4月20日

三鷹市議会議長 様

会 派 名 日本共産党三鷹市議会議員団

代表者氏名 大城 美幸



令和2年度三鷹市議会政務活動費実績報告書

令和2年4月1日付け2三議第18号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1 交付決定を受けた額 | 1, 296, 000円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書
別紙のとおり | |



調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,296,000	
2 その他の収入		
計	1,296,000	

(2) 支出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	1,800	上級救命講習（再）講習テキスト代
2 調査旅費	0	
3 資料作成費	0	
4 資料購入費	29,902	情報公開資料複写実費、定期刊行物購入費
5 広報費	1,034,203	三鷹市議団ニュース作成費など
6 広聴費	0	
7 事務費	52,033	コピー機使用料、プリンターインク代など
計	1,117,938	

差引額（収入－支出）

178,062円（残額分178,062円は市へ返還）

政務活動費 調査研究の成果

日本共産党三鷹市議会議員団は、政務活動費を活用して、主に下記のような調査研究を行いました。

- (1) 2020年度は新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大により、緊急事態宣言が出されるなど、コロナの収束がみえない中、市議団は、自粛生活を強いられている高齢者の健康・介護について何よりも心配をしました。コロナ禍で、市財政も厳しくなることが予想されますが、自粛生活が長引くことでの認知症になるリスクが高まることや介護状態が悪くなる人が増えると予想され、社会保障費の増大がますます今後の市財政に影響を及ぼすことになりかねません。そのことから、コロナ禍だからこそその条例提案を行おうと考え、65歳以上の非課税の方に一人、一回限り3万円の助成を行う「補聴器購入費助成条例」を提案しようと、全国の取り組みを調査しました。また都内の実施状況について把握し、2020年12月議会に条例提案を行いました。条例は2021年3月議会で否決されましたが、引き続き、補聴器購入費助成の実現に向けて取り組んでまいります。
- (2) コロナ禍だからこそ市民のくらしの実態把握に努めようと、毎年行っている年2回の市政報告とあわせて「市政とくらしのアンケート」『新しい三鷹』の全戸配布に、特に力を入れました。
- (3) 今年発行した『議員団ニュース』では、コロナに関する情報に紙面の多くを割きました。「自分たちの主張だけでなく、市民に役立つ情報をのせてくれてありがとう。お礼が言いたかった」と、わざわざ市役所の控室に電話が寄せられ、保健所復活の要望などが多々寄せられました。
- (4) 収入減などくらしや営業の相談活動に取り組むとともに、持続化給付金の手続きなど必要とされる情報をお知らせすることに注力しました。
- (5) 新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインでの学習会の参加が増え、ズーム会議やオンライン学習では地球温暖化の影響や環境問題、子どもの貧困、生活保護制度、認知症のことについて学習し、議会質問や予算決算・各常任委員会での質疑に活かしてきました。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大により、会派の視察ができなかったのが残念です。
- (7) 三鷹市庁舎・議場棟等劣化診断調査業務/調査報告書(本編)、同・調査報告書(資料編)を情報公開請求し、資料を求め、議会での質問に活かそうと、現在も調査・分析を行っているところです。
- (8) コロナ禍において、様々な活動が中止を余儀なくされ、市民との対面での接点が少なくなった一年でしたが、だからこそ市民のくらしを良くするために、市民の命と健康を守ることを第一に考え、議員として、また市議団としての役割が重要になってきていると考えます。市民の目線で市政をチェックするうえでも、市民に分かりやすく市政の情報を迅速に伝え、市民の率直な声を聞くことが求められていると思います。市政の情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、市民の声を市政に反映させるため引き続き頑張っております。